

学生図書委員会 活動報告ほか

1年間を振り返って

4I 岡山 真衣

図書委員会委員長と広報プロジェクトリーダーを務めさせて頂いています。4年情報工学科の岡山です。

今年度の図書委員会は広報プロジェクト・雑誌入れ替え+福袋プロジェクト・読書週間プロジェクト・高専祭プロジェクトという4つのプロジェクトが活動を行っていました。

特に高専祭プロジェクトは、昨年度まで活動していたメディアコンペティションプロジェクトを廃止し、その代わりとなる新たなプロジェクトとして立ち上げられたので今年が初の試みでした。高専祭ではミニ図書館を行い、大盛況でした。

図書館に入れて欲しい図書の希望調査を行い、その購入希望図書を実際に大きな書店に購入しに行くイベントである通常年2回のブックハンティングも、図書館の改修工事の為、今年度は秋期の1度のみ開催されました。

ここで、先程紹介させて頂いた学生図書委員会の4つのプロジェクトの活動を紹介します。

まず、広報プロジェクトです。このプロジェクトでは年に1回の図書館だよりを通じ活動の様子を伝えます。更に、各プロジェクトの企画と連動してTwitterにて広報活動も行います。今年度は図書委員会の日時、各イベントのおしらせを積極的に行っていました。

また読書週間プロジェクトでは、秋に行われる読書を推奨するイベントの準備等を行うプロジェクトです。テーマに沿って選書を行い、オススメポイントを明記した上で特設ブースにて展示を行います。「何度も読み返したくなる本」というテーマで12月中旬から2週間ほど展示しています。

雑誌入れ替え+福袋プロジェクトは、あまり読まれていない雑誌や廃刊となった雑誌の購読中止や、学生や教職員のニーズに合わせた雑誌の購読を提案するプロジェクトです。また冬期に行われる図書福袋イベントという、実際に開けてみないと借りた本がわからない状態で図書の貸し出しを行うイベントの選書もこのプロジェクトの方々が行います。福袋図書の選定も12月中旬から準備を行っています。

最後に高専祭プロジェクトです。このプロジェクトは今年度から始動したプロジェクトで、今秋に開催される高専祭での出し物を行うプロジェクトです。今年度の高専祭ではミニ図書館という名目で読み聞かせコーナーやオススメ本コーナー、折り紙コーナーの準備、運営をこのプロジェクトが行います。

今年度は新プロジェクトの立ち上げ、また図書館改修工事の為今年度は例年までの図書委員会の活動と異なる活動が多かった年のように感じます。また、委員長やプロジェクトリーダーのようにまとめる役割に就いたのが私にとって初の経験でした。今年度の活動もわずかですが残りの委員活動で少しでも自身の成長に繋がれば良いと思います。

お気に入りの本は何ですか？

4M 大林 彩乃

はじめまして。高専祭でのミニ図書館のリーダーを務めさせていただいた大林彩乃と申します。

さて、みなさんは、ここに並んだ本を読んだことがあるでしょうか。怪盗クイーン、パセリ伝説、パスワード探偵団、南総里見八犬伝、都会のトム・ソーヤ、若おかみは小学生……。私事で申し訳ないのですが、このラインナップは小学校低学年時にわたしが何度も繰り返し読んだ本です。

今年の高専祭で開催したミニ図書館では、この中の怪盗クイーンと都会のトム・ソーヤを紹介させていただきました。もちろん、ミニ図書館は決して小学生のみが対象というわけではありません。ぐりとぐら、陸王、紅茶の時間、「世界の神々」がよくわかる本などなど……。図書委員のおすすめを厳選した60冊以上の本とポップで皆さんをお迎えしました。さらに折り紙もたっぷり用意したので、4歳のお子様から年配の方まで楽しんでいただけたと思います。

しかし、疑問に思う方も多くでしょう。なぜ模擬店ならぬ模擬図書館を、あえて高専祭で開催するのか。図書委員会が去年まで開催を続けてきた団体のパネル発表は、来場者数の減少などいろいろな観点から新企画を開催するはこびとなりました。新企画はより楽しい企画にしたい。そこで考えられたのが、高専生を知ってもらうための一風変わったアプローチです。

例えば、よく知らない人と話すとき、好きな食べ物や学校生活について話すよりも、お気に入りの本の話をした方が、相手の内面をよく知ることができたと思いませんか。

高専生は、普段何を考え、何を思っているのか。頭の中身は専門分野のことだけなのか。ミニ図書館が、一般の人にとって高専生の素顔に迫る内容になったとしたら幸いです。



最後に、ミニ図書館を開催するにあたって、たくさんの方のご協力をいただき、また迷惑をかけました。無事に開催し終えることができ、心から感謝しています。この場を借りてお礼を申し上げます。



今年度、読書週間プロジェクトのリーダーを務めさせていただきました、3年電子制御工学科の青木です。これから、読書週間プロジェクトの紹介と今年度の活動の振り返り、反省を行います。

読書週間プロジェクトとは、図書委員のおすすめ本を展示し、学生の方に図書館に足を運び、本に触れて頂くというものです。

そのため、読書週間プロジェクトでは、主に以下の5つの活動を行いました。まず最初に行ったことは、テーマの決定です。今年度の読書週間のテーマは「何度も読み返したい本」でした。面白い小説はもちろんのこと、役に立つ専門書などもオススメすることができました。次に、ブックハンティングで本を購入しました。事前にプロジェクトのメンバーからおすすめ本を教えて頂き、合計5冊の本を購入しました。そして、ポスターの制作を行いました。ポスターは各クラスの教室に掲示しました。その後は、ポップの制作をしました。ポップは、1人約2冊の本のポップを作成しました。それぞれ個性的で、本の面白さが伝わるポップが完成しました。最後に、仮設図書館の飾り付けを行いました。今年は図書館が改修中のため、仮設図書館にて展示をしました。図書館の方の協力もあり、スムーズに飾り付けを行うことができました。

これらの活動を終えて、反省点としては、読書週間プロジェクトの前例を知らなかったということが挙げられます。どのような活動をしているのかを知らなかったので、何をすればいいのかがよくわかりませんでした。そのため、前年のポップ制作では、事前に本を読み、文章を考えていたそうなのですが、今年度は事前準備をしていなかったため、作成に時間がかかってしまうといった出来事も起こりました。前年、読書週間プロジェクトに参加されていた方がプロジェクトメンバー内にいたので、事前に活動の流れを聞いておくべきだったと反省しています。

最後に、読書週間によって少しでも多くの方が本に触れ、お気に入りの本が見つかることを願っています。また、今回の図書館だよりを見て、少しでも読書週間プロジェクトに興味を持っていただけると嬉しいです。

図書館では学生希望図書を随時受け付けています。

図書館にないのでぜひ備えてほしいという本を募集しております。

カウンターへ申し出ていただくか、tosho@jimunara-k.ac.jpまでメールをお願いします。

詳しくは、図書館ホームページの「資料検索」のタブから「推薦（希望）図書」をご覧ください。